

税金についての作文を書くにあたり、まず自分が税金についてよく知らないと思いました。買い物をした時に消費税として10%を支払っていますが、そもそも払わないといけないので払っているだけで、消費税が何なのかそれが社会にどう役立つているのかも知りません。毎日常生活していく上で、税金について考えることはなく、税金は社会生活を支える人のために必要なものという、フワツとした認識しかありません。

大人となり社会に出て働くと、給料から所得税、住民税、社会保険料や介護保険料などいろいろ引かれるそうです。給料は自分が働いた分の対価なのに、こんなにも強制的に引かれてしまうなんて、正直理不尽だとさえ思いました。世の中には賢く簡単にお金を稼ぐことができる人もいます。と思いますが、まだ働いたことがない自分は、とても大変な事だと親や周りの大人を見て感じます。そんな大変な大変な思いをして稼いだお金を、税として

徴収されているにもかかわらず、なぜこんなにも税金について自分達は知らないのでしょうか。

インターネットなどでは税について、ものすごい数の情報が取り上げられています。その知識を必要とすれば、自分で検索し調べることが出来ます。毎日見るテレビでは、たまに税金のニュースや特番があったりしますが、なぜか税金について基本的な事は知っていない当たり前という感じです。そこで僕は違和感を覚えました。納税についての知識は個人の努力に委ねられていて、義務教育で、国語や数学や英語みたいに税金について専門的に学ぶ授業がないことに。納税の義務をうたうなら、税金についての正しい知識や、使われ方

必要性をもっと基礎から国民全員が社会に出る前に学ぶべきだと思います。その学びの中で、政治に興味を持つ若い人も出てくるのではないかと思いますし、より議論も活発になるのではないかと考えます。

大人になっても税金をよく知らない人もいます。給料明細の手取り額だけ見て、何にいくら引かれているのかも見ない、知らない人もいるそうです。それは税金について学ぶ機会がなかったからだと思います。無知は恥だと言います。税金についてきちんとした知識があれば、それぞれが他人事ではなく、自分が支払った税金が、正しくどう使われているのか、税金の使い道を決める国会議員や地方議会議員に対して、厳しい目を持つ事で無駄遣いを防ぎ、より暮らしやすい環境に繋がるのではないかと思います。その為には、まずは税金に対して全員が学ぶ事、これはとても重要な事だと思いました。